

会 議 録

行 田 市 教 育 委 員 会 平 成 2 5 年 第 8 回 7 月 定 例 会

招集年月日	平成25年7月25日(木)	開会場所	行田市教育委員会 2A会議室		
開閉の時刻 及び宣言者	開会7月25日(木) 午後3時00分 閉会7月25日(木) 午後5時40分	委員長	岸田 昌久		
委員長	岸田 昌久	委員長職務代理者	町田 祥子	仮議長	
席次番号	出席の委員氏名	摘 要			
1	岸田 昌久				
2	町田 祥子				
3	鹿山 高彦				
4	阿部 祐見子				
5	中村 猛	(教 育 長)			
議 事 参 与 者			書 記		
学校教育部長	小河原 勝美	書記長	藤間 英夫		
生涯学習部長	猪野塚 敏和	書記次長	梅澤 清志		
学校教育部次長兼教育総務課長	藤間 英夫	書 記	瀬場 朋子		
生涯学習部次長 兼郷土博物館長	門井 輝秋				
生涯学習部次長 兼教育文化センター所長兼中央公民館長	宮崎 勝行				
生涯学習部次長 兼スポーツ振興課長	河野 利和				
生涯学習部次長 兼ひとつくり支援課長	鶴木 幹之				
学校教育課長	篠田 豊和				
文化財保護課長	中島 洋一				
教育研修センター所長	松井 正俊				
図書館長 兼視聴覚ライブラリー館長	小巻 健二				

会議事件名		顛	末
会 議 の 進 行 状 況		<p>市民憲章唱和</p> <p>委員長 本日の会議日程は議案3件、協議事項1件、報告事項が1件だが、全て公開としたいと思うが、良いか。</p> <p>【全委員承認】</p> <p>委員長 6月定例会の会議録について事務局に報告を求める。</p> <p>書記次長 6月定例会会議録報告</p> <p>委員長 何か意見等あるか。</p> <p>【全委員承認】</p> <p>委員長提案、書記次長議案朗読</p> <p>学校教育部長 議案第40号について説明する。本案は委員の任期満了に伴い、新たに委嘱しようとするものである。当運営委員会は、行田市立学校給食センター設置及び管理条例第7条の規定に基づき、学校給食センターの運営に関する重要な事項を審議するため、設置するものである。具体的な職務については、行田市立学校給食センター運営委員会規則第2条において、学校給食の年間事業計画に関する事、学校給食費に関する事及びその他運営上に必要と認めることを審議していただくことである。2ページ目の別紙をご覧ください。当運営委員会は同規則第3条第1項の規定に基づき、10名を以って組織するものである。委員の内訳については、同規則第3条2項の規定により、委員長として市長、副委員長として議長を充て、それ以外の委員の8名については、第3項各号の選出区分により、委嘱するものとされている。選出区分に基づき、それぞれの団体から推薦をいただいた方に委嘱しようとするものである。新任が4名、</p>	
	<p>議案第40号 行田市立学校給食センター運営委員会委員の委嘱について</p>		

<p>会 議 の 進 行 状 況</p>	<p>議案第41号 行田市史編さん委員会委員の委嘱について</p> <p>議案第42号 足袋蔵等歴史的建築物の保存・活用に関する諮問について</p>	<p>再任が6名となっている。任期については、平成25年8月1日から平成26年7月31日までの1年間である。</p> <p>委員長 何か質問等はあるか。</p> <p>【原案のとおり承認】</p> <p>委員長提案、書記次長議案朗読</p> <p>文化財保護課長 議案第41号について説明させていただく。行田市史編さん委員会条例に基づき、編さん委員は10名以内のところ、現在、9名で委員会を組織しているが、同条例第3条第2項の規定に基づき、市議会議員の選出区分に議長から推薦されることになっているが、今回、議長が交代されたため、香川宏行議長を新たな委員として前任者の残任期間である平成25年8月1日から平成25年11月30日まで兼任させていただきたいとのことである。2ページ目に新任の委員の一覧、3ページ目に行田市史編さん委員会委員の9名の一覧である。</p> <p>委員長 何か質問等はあるか。</p> <p>【原案のとおり承認】</p> <p>委員長提案、書記次長議案朗読</p> <p>文化財保護課長 議案第42号について説明する。行田市では平成25年度より企画政策課で「ふるさとづくり事業」が実施されている。これは4月の市報にも掲載されている。個性的で豊かな行田の実現ということで足袋蔵等の歴史的建築物を改修・活用していくものである。これに対して、どのようなものが歴史的建築物なのかの定規や文化財としての改修・活用のあり方などが、曖昧であり、明確な指針を示して欲しいという意見が企画政策課よりあった。その為、審議会へその旨を諮問するものである。諮問案としては、2ページ目に記載されている。10月末までに歴</p>
--	--	--

<p style="text-align: center;">会 議 の 進 行 状 況</p>	<p>史的建築物の保存・活用のあり方について諮問をお願いしたいというものである。期間が短い、昨年度、行田市と県、ものつくり大学で調査報告書を提出していただいた。それを元に委員会としてまとめることができるということである。</p> <p>委員長 何か質問等はあるか。 これは教育委員会として、文化財保護審議会委員長宛に足袋蔵等などの歴史的建築物の活用について諮問する文書ということで良いか。</p> <p>文化財保護課長 そのとおりである。</p> <p>委員長 足袋蔵は貴重な財産である。通りに面していない蔵などの活用は難しいこともあるが、ぜひ有効に活用していただきたい。</p> <p>鹿山委員 予算はついているのか。</p> <p>文化財保護課長 ふるさとづくり事業として4,000万円の予算がついている。1件当たり上限は2,000万円となっている。</p> <p>委員長 教育委員会の事業ということではなく、NPO団体の活動では足袋蔵や蔵を展示会などに活用している。</p> <p>文化財保護課長 今回の「ふるさとづくり事業」も、市が直接行う事業ではなく、NPO団体などが行う活動に対して補助金を出すということになる。文化財としての価値を台無しにする活用をされてしまうと困ることから、活用のあり方について決める必要がある。企画政策課からも審査をするにあたり、適切なのかどうか判断が難しいので、基準を決めていただきたいとのことである。</p>
--	---

<p>会 議 の 進 行 状 況</p>	<p>協議事項 平成25年度(平成24年度事業対象)行田市教育委員会の事務事業等に関する点検評価報告書について</p>	<p>町田委員 足袋蔵等歴史的建築物と記載されているが、対象となるものは、どのくらいあるのか。</p> <p>文化財保護課長 中心市街地にある産業関係の蔵を中心とした建物が対象となるが、足袋蔵に使用されていたことが分かるものは、81棟である。足袋蔵関係の工場などを含めると200棟近くになる。</p> <p>町田委員 200棟近くの全てが対象となるのか。</p> <p>文化財保護課長 全てが対象となるかの判定をこれから行うのだが、その200棟について、教育委員会で何年もかけて調査を行ってきた。そのデータを審議していただくことになる。</p> <p>町田委員 了解した。</p> <p>委員長 行田市に住んでいる私たちには、感じにくいのだが、「のぼうの城」などで興味を持ち、市外から来られた方たちには行田市は落ち着いている市だと仰っていただいている。 何か質問等はあるか。</p> <p>【原案のとおり承認】</p> <p>教育総務課主幹 平成25年度(平成24年度事業対象)行田市教育委員会の事務事業等に関する点検評価報告書について説明する。A3版の資料をご覧ください。 この点検評価は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等が規定されたことから、本年度も9月定例市議会に報告するため協議するものである。 なお、同法律により、教育委員会は点検及び評価を行うに当</p>
--	---	--

<p style="text-align: center;">会 議 の 進 行 状 況</p>	<p>たつては、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するものとする」と規定されていることから、山野達雄氏、須郷和美氏の2名に依頼し、意見を伺った。</p> <p>市議会への報告書は、7月定例会で協議として示し、8月定例教育委員会には、議案として上程する。承認をいただけたら報告書として議会へ報告をする。</p> <p>今回の報告書は、平成24年度の教育行政方針を踏まえ、前回(昨年)の報告書と同様に作成した。</p> <p>資料に基づき説明。</p> <p>委員長</p> <p>順にページを追っていくので、何か質問等はあるか。</p> <p>「法律で決まっているからこのようにやる。」ではなく、学校の人事考課制度も関連しているので、改善していく方向で願います。これが次年度の予算編成に繋がる可能性もある。何故、この点検評価があるのかを考えていただきたい。</p> <p>委員長</p> <p>ひとつくり支援課だけが「大幅に遅れている」や「低減する余地がある」などが多いのだが、評価の偏りというのはどうなのか。自己評価がひとつくり支援課だけが厳しく、他の課が甘いということなのか。</p> <p>7ページ下では、学校応援団が中学校にも拡大されたということが、昨年とは大きく違う。有識者からの御意見で学校応援団を拡大してほしいという意見があり、それが反映されているのか。</p> <p>学校教育課長</p> <p>小学校から始まり、中学校もというのは自然の流れだと思う。県でも中学校にも設置をお願いしたいとあった。</p> <p>委員長</p> <p>9ページ上の「子育て講座の開催」だが、参加率が11%となっているが、昨年も20%と低い。しかし、私たちの意見としては保護者の教育は非常に重要だという意識はあるので、大きな課題かと思う。</p> <p>有識者の御意見も有効性や達成度が比較的低い理由は参加率によるものなのか、講座の位置付けが受講者に対して不明確な</p>
--	--

<p>会 議 の 進 行 状 況</p>		<p>のではないかとあるが、どうなのか。</p> <p>ひとりづくり支援課長 この事業については、小学校へ入学する子どもがいる保護者が集まる就学児の健康診断や保護者会などを活用して実施している事業である。対象が新1年生の人数が平成24年度については656人だった。実際に実施された学校が平成24年度については2校であり、合計73名という状況だった。</p> <p>委員長 2校だけなのか。</p> <p>ひとりづくり支援課長 開催した学校は2校である。</p> <p>委員長 全校が開催したわけではないのならば、分母が違うのではないか。</p> <p>ひとりづくり支援課長 分母は新1年生の全体数である。73名は実施した学校の新1年生の数である。</p> <p>委員長 73名を分母にしたものはないのか。 11.13%というのは、参加率としては少なくないということでしょうか。</p> <p>町田委員 その学校に対する対象者の出席率となると全校の656名ではなく、73名を分母にした方が良いのではないか。</p> <p>委員長 計算方法が違うのではないか。</p> <p>鹿山委員 全校が行ってはいないのか。</p>
--	--	--

<p style="text-align: center;">会 議 の 進 行 状 況</p>	<p>阿部委員 開催した学校の児童生徒数だけで良いのではないか。</p> <p>町田委員 開催した学校の新1年生の人数に対して、何人が出席したのかという方が良いのではないか。</p> <p>ひとつくり支援課長 656名は全ての新1年生の数であり、分母が大きくなってしまっているので、出席率が低く算出されている。開催した学校の新1年生の数を分母にすると出席率は高くなる。</p> <p>町田委員 そのはずである。</p> <p>阿部委員 それよりも、何故、2校しか開催していないのか。</p> <p>鹿山委員 そのとおりである。</p> <p>ひとつくり支援課長 学校からの申請ということで、申請をしていただいた学校が昨年度は2校だけであった。</p> <p>鹿山委員 全校が開催するようにできないのか。</p> <p>委員長 就学時検診というのは、子どもが保護者から離れる時間が非常に多いえに時間がかかる。その間、保護者は待っていないが、大部分の人は一時帰宅してしまう。その間の時間を講座に使うことは良い機会だと思うので、改善をお願いしたい。</p> <p>鹿山委員 ぜひ2校ではなくて、全校で行っていただきたい。</p>
--	---

<p>会 議 の 進 行 状 況</p>		<p>阿部委員 そのとおりである。</p> <p>町田委員 全校へ広めていただきたい。</p> <p>委員長 何故かと言うと、現在、子ども達を取り巻いているいじめや虐待などの様々な問題というのは、学校教育にもあることは否定しないが、子育てに多いという意見が多い。ぜひ、「子育て講座」を広めていただきたい。 9 ページ下の「親の学習講座」とはどういうものなのか。</p> <p>ひとつくり支援課長 この事業については、埼玉県家庭教育アドバイザーを活用して、家庭教育の重要性などについての講座を実施しているものである。</p> <p>委員長 全校で行っているのか。</p> <p>ひとつくり支援課長 こちらについても申請をしていただき、実施をするという状況である。残念ながら昨年度は申請が1 件のみだったが、悪天候のため、講座は開催することができなかった。</p> <p>委員長 達成度が大幅に遅れているとなっているが、悪天候のために中止となったのでは仕方ないと思う。</p> <p>ひとつくり支援課長 実績がないため、このような評価をさせていただいた。</p> <p>委員長 2 3 年度は昨年度より実施回数は多かったのか。毎年1 回の開催なのか。</p>
--	--	---

<p>会 議 の 進 行 状 況</p>		<p>ひとつくり支援課長 年1回に限定しているわけではない。</p> <p>委員長 埼玉県家庭教育アドバイザーが各市町村を訪問するのに1回がノルマなのかと思った。</p> <p>ひとつくり支援課長 埼玉県家庭教育アドバイザーに登録をしている方が、必ず存在するというのではなくて、例えばPTAや公民館から「今度、講座を開催するので、家庭教育アドバイザーを派遣していただきたい。」と連絡がくる。それぞれの家庭教育アドバイザーが講義するものがあるので、選択していただいている。</p> <p>委員長 9ページ上下は達成度が遅れている部分なので、ぜひ改善をよろしく願います。 何か質問等はあるか。</p> <p>町田委員 例えば「子育て講座」の中で、「親の学習講座」を行った場合は、どちらにカウントされるのか。そんな状況も有り得ると思う。「就学児検診」や「親の学習講座」は何年か前に県から降りてきて、全校で行った。そのような場合に区別がつくのか。 なぜ、「親の学習講座」と分けたのか。できるのならば、改善していただきたい。 申請する場合は県の教育委員会へ申し込むのか。</p> <p>ひとつくり支援課長 2つの申込方法がある。</p> <p>町田委員 東部教育事務所を通じて県の教育委員会へ申し込む他にはどのようにするのか。</p> <p>ひとつくり支援課長 市の教育委員会を経由して申請する方法がある。</p>
--	--	--

<p style="text-align: center;">会 議 の 進 行 状 況</p>		<p>町田委員 そうした場合は県から経由したのものもこちらにカウントされているのか。</p> <p>ひとつくり支援課長 カウントされていない。</p> <p>町田委員 あくまでも、市の教育委員会に申請されたものだけということか。</p> <p>ひとつくり支援課長 そのとおりである。</p> <p>町田委員 了解した。 もっと行っているはずだったので、疑問に思った。</p> <p>ひとつくり支援課長 県に直接申請した場合は、こちらでは判断できないため、このようになった。</p> <p>町田委員 できるならば、市の教育委員会へ申請していただきたいと思う。学校などに周知していただければ、市へ申請するのではないか。せっかく市で行っているのに県のカウントにされるのはもったいないと思う。</p> <p>委員長 これは校長会などで周知すれば、良いのではないか。</p> <p>ひとつくり支援課長 「子育て支援の開催」と「親の学習講座の開催」については、分けて考えるのではなく、1つの事業ということで改善させていただきたいと思う。</p> <p>鹿山委員 初めに見たときは、「親の学習講座」と記載されていたので、</p>
--	--	--

<p style="text-align: center;">会 議 の 進 行 状 況</p>	<p>親が勉強して、子どもに教えるのかと思った。概要を見ると違うのは分かったが、初見では誤解をしてしまうかもしれない。</p> <p>町田委員 「親の学習講座」というものは、例えば50人程の親に来ていただき、グループを作る。そして、テーマに則り、話し合っていた。そこで「気づき」や「学び」を得ていただくものである。講師による一方的な講座では、右から左へ抜けてしまうので、グループで話し合った中で「気づき」などを学んでもらうというものである。</p> <p>ひとつくり支援課長 町田委員がおっしゃった様に、学習支援者という方がリーダーとなって参加者が中心となり、「参加型学習」を行う。</p> <p>委員長 来年度は、この部分が問題となったということ覚えていただきたい。 11ページ上の青少年育成会の役員も高齢の方が多く、大変ではないか。</p> <p>ひとつくり支援課長 年齢層は高くなっているかと思う。</p> <p>町田委員 10ページ下の「子ども大学ぎょうだの開催」の方向性・課題等の部分で社会教育団体と記載されているが、どのような団体なのか。</p> <p>ひとつくり支援課長 この事業については、埼玉県、行田市教育委員会、ものづくり大学、NPO 法人子育てネット行田、市民大学と連携している。</p> <p>町田委員 市民大学の方も概要に記載したほうが良いと思う。</p> <p>ひとつくり支援課長 了解した。市民大学の方にも携わっていただいているので、</p>
--	--

<p style="text-align: center;">会 議 の 進 行 状 況</p>	<p>記載させていただく。</p> <p>町田委員 よろしく願います。</p> <p>委員長 その部分の修正をお願いします。</p> <p>鹿山委員 今回は無理かと思うが、有識者の意見の中で、質問が記載されているのだが、それに対する回答も記載していただきたい。</p> <p>委員長 鹿山委員の発言のとおり、どう対応したのか気になる。</p> <p>鹿山委員 質問で終わってしまうと、何のために有識者に御意見を伺ったのか生かされない。ここだけではなく、全ての部分に言えることである。</p> <p>委員長 質問で終わっているものが多数ある。私たちも鹿山委員と同じ疑問を持った。</p> <p>ひとつくり支援課長 有識者とのヒアリングの時に、有識者の方からこのような質問があった。その時に私のほうで回答させていただいた。1つ例を挙げると10ページ上の「行田市放課後子ども教室」の有識者の意見にある「3つの学校(北小、北河原小、西小)が選ばれたのは何故なのか」と質問があった。「行田市放課後子ども教室」を実施するうえで、地元の方の協力体制がとれないと実施できないという面がある。始めは北小と北河原小の2校が、地元のボランティアの方が昔の遊びを子ども達に教えていただいていた。やはり、地元の方の御協力ができないということになる。西小が協力体制が整ったということから、昨年から加わったと説明をさせていただいた。</p>
--	---

<p style="text-align: center;">会 議 の 進 行 状 況</p>	<p>鹿山委員 次回から、回答も記載していただきたい。</p> <p>委員長 「子ども大学ぎょうだの開催」の達成度が概ね順調となっているが、右側の参加者満足度が約100%と記載されている。何故、概ね順調という評価になっているのか。 13ページ下の「セカンドブック事業の実施」は今回、初めて記載されたものである。 昨年度からの家庭学習については、行田市教育委員会の1つの目玉だったので、ぜひ取り上げていただけたらと思う。 15ページ下の「小学校英語活動、小・中連携の推進」は昨年度からあったのか。</p> <p>学校教育課長 昨年度からあった。</p> <p>委員長 16ページ上の「確かな学力の育成」の達成度が「やや遅れている」になっている理由を説明していただきたい。</p> <p>学校教育課長 前年度は家庭学習に特化して行ったためである。勿論、家庭学習だけではなく、学校の中でも学力向上のための方法などもあると思い、家庭学習に昨年度は特化してしまった。</p> <p>委員長 「概ね順調」と記載されていれば順当に達成できていると感じるが、「やや遅れている」だとマイナスのイメージを与えてしまう。</p> <p>学校教育課長 評判は良いのだが、家庭教育はやはり大事だと有識者の方にも評価をしていただいた。これをどのように学校の授業と連携させて学力を向上させていくかということと、学校ごとに実態が違うので、どのように行っていくかがこれからは大事な事かと思う。</p>
--	---

<p style="text-align: center;">会 議 の 進 行 状 況</p>	<p>委員長 勉強というものは教わるのではなく、自分から机に向かって勉強をするということが根本だと思う。ぜひ、この家庭学習をせっかく始めたのだから、しっかり継続をしていただきたい。</p> <p>学校教育課長 自習学習ノートを研究している学校も出てきた。</p> <p>委員長 効果の数値化をしていただきたい。</p> <p>鹿山委員 17ページ上の「衛生管理・安全管理の徹底」についてだが、「新たな放射能漏れがなければ、必要性は低くなっていく」と書かれてしまうと、終わってしまったように感じてしまう。廃炉に向けてはこれからだし、燃料を取り出すなど様々なことがこれから控えているので、有識者の御意見にもあるが放射線量の測定は継続していただきたい。放射能漏れは終わったとしてしまうのではなく、原子炉の状態をよくチェックしていただきたい。最近も内部を確認したら湯気が上がっていたようである。そのような異常があった場合には、すぐに行田市内の放射線量はどうかチェックする体制は残していただきたい。</p> <p>学校教育課長 了解した。有識者からもそのような御意見をいただいている。</p> <p>鹿山委員 異常がないと報じているから異常はないと考えるのではなく、行田市内で異常がないことを確認することが大切かと思う。報道などは後手に回ることが多いので、よろしく願います。</p> <p>学校教育課長 了解した。</p> <p>委員長 厳しい言い方かもしれないが、17ページ上部の衛生管理、安全管理の徹底の目的で児童生徒の安全を担保すると書かれているが、通学路ではなかったが踏切事故で1人の小学生が命を</p>
--	---

<p style="text-align: center;">会 議 の 進 行 状 況</p>	<p>落としているという結果がある。</p> <p>地域の方の協力もあって、市の改善の努力というものは、結果として残せているので良かったかと思う。</p> <p>町田委員</p> <p>食育の推進の部分だが、目的で「正しい食事の在り方と望ましい食習慣を身に付け、食を通じて自らの健康管理ができるようにする」とあるが、これは児童生徒が自ら健康管理ができるようにするということが目的なのか。保護者の協力がないとこれを小学生に望むのは難しいと思う。食の改善や望ましい食習慣がどういうものかというものを教育していくことは非常に大切だが、家庭で食事の準備をする保護者にも協力を求めるというように子どもだけではなく、保護者にも拡大した推進はできないのか。</p> <p>学校教育部長</p> <p>給食だけではなく、食育指導も行っている。その中でこの食物にこのような栄養があると教えている。</p> <p>町田委員</p> <p>そこまでだと、実際に家庭では行うことは難しいと思う。3食の内2食は家庭で食事をしている。給食はバランスが取れた食事を取れているので問題ないと思うが、家庭での意識はどうなっているのか。保護者にもアプローチを行っていただきたい。</p> <p>委員長</p> <p>好き嫌いをなくす、牛乳を飲むようにするなどの啓発は「ひまわりだより」で行っている。</p> <p>町田委員</p> <p>それ以上の啓発はやはり難しいか。</p> <p>鹿山委員</p> <p>発芽玄米入りご飯を週に1回提供すると書かれているが、概要では拡大を図るとあるので、週1回と言わず拡大をお願いする。</p> <p>決算額が0円になっているが、増やすということはないのか。</p>
--	--

<p style="text-align: center;">会 議 の 進 行 状 況</p>	<p>学校教育部長 これは給食センターの食材費ということではなく、食育推進事業の関係となっているためである。</p> <p>鹿山委員 了解した。ぜひ発芽玄米入りご飯の拡大を図っていただきたい。 栄養バランスの取れた食事内容と書かれているが、一般的に栄養バランスと言えば、肉と野菜のバランスと考えがちだが。子ども達の健康や学力向上のことを考えると野菜と肉のバランスだけではなく、栄養価値とカロリーのバランス(N/Cレート)を考える必要がある。さらに言えば、ナトリウムとカリウムのバランスだったり、カルシウムとマグネシウムのバランスだったり、α-リノレン酸とリノール酸のバランスといった分子レベルでのバランスが大切である。こういった部分まで考えると子ども達の能力(健康を含めた学力・体力・精神力など)は飛躍的に伸びる。学校給食も分子レベルでのバランスに注意して学校給食のメニューを作成していただければ、もっと良くなるのではないかと思うので、よろしく願います。</p> <p>学校教育部長 了解した。</p> <p>委員長 有識者の御意見に栄養士の方だけでなく、調理員の方の学校訪問に価値があると書かれているが難しいと思う。</p> <p>学校教育部長 実際に栄養士や調理員の方にも学校訪問を行っていただいている。</p> <p>委員長 以前は農協と協力して生産者の方とも会ったことがある。</p> <p>町田委員 それは良いと思う。</p>
--	--

<p>会 議 の 進 行 状 況</p>		<p>鹿山委員 野菜を作っている人の顔を見ることができるのは、良いと思う。</p> <p>委員長 18 ページ上の「地場産物を利用した献立の推進」の有識者の御意見に開所以来同一業者で問題は生じないのかとあるが、変更することは非常に大変である。</p> <p>鹿山委員 「地場産物を利用した献立の推進」について、先程の放射能に関連してだが、これから放射能が問題になるのは、海である。放射性物質が海に流出しているため、海産物が放射性物質に汚染されてしまうことは目に見えている。海産物の放射性物質検査をお願いする。</p> <p>学校教育部長 検査を通ったものを食材として使用している。それを含めた食材について週1回検査を行っている。勿論、検査の継続をしていく。</p> <p>鹿山委員 これからは特に海産物の汚染が心配なのでチェックをよろしくをお願いする。 18 ページ下の「学校の通学区域の見直し」についてだが、方向性、課題等の欄に「川で分断されているため計画を進め辛い状況である。」と書かれているが、達成度が概ね順調となっているのは何故なのか。</p> <p>教育総務課長 この部分は星宮小学校の関係なのだが、状況としては通学路を確保できれば通学路の変更が可能となることから計画の中へ位置づけている。この表記としては、現在は川で分断されていて通学路が確保できないと書かせていただいた。実際のところでは、道路治水課で生活道路として橋と道路の整備を行っている。26年度中の開通を予定しているとのことである。このことを含めて概ね順調とさせていただいている。</p>
--	--	---

<p>会 議 の 進 行 状 況</p>		<p>鹿山委員 了解した。</p> <p>委員長 大変だと思うが、よろしく願います。 22ページ下の「生徒指導強化推進委員会・学校警察連絡協議会等活動の充実」についてだが、現在も活発に活動を行っているのか。</p> <p>学校教育課長 以前と比べて、冊子を最後にまとめて作る部分が無くなったが、行っている。</p> <p>委員長 以前は問題行動や非行がテーマの活動だったが、現在はいじめや不登校へ傾向が変わってきたと思う。</p> <p>学校教育課長 行田市民の方からは不登校や引きこもりだった子どもが、そのまま大人になるといったことが話題に上がった。また警察からネット関係でも問題があるという情報提供がある。</p> <p>委員長 昔どおりということではなく、その時々に応じた活動を各学校に流せるようにしていただきたい。 生徒指導主任は活動に参加しているのか。</p> <p>学校教育課長 参加している。</p> <p>委員長 よろしく願います。 24ページ下の「小中学校トイレ改修工事」についてだが、達成度が達成済となっているが、全てが完了しているのか。</p> <p>教育総務課長 これは24年度の事業として達成したということである。</p>
--	--	--

<p style="text-align: center;">会 議 の 進 行 状 況</p>	<p>委員長 工事は完了していないのか。</p> <p>教育総務課長 25年度から中学校5校の工事を開始する。</p> <p>委員長 私の理想としては、男子の児童生徒が安心して大便ができる環境を作っていただきたい。私の経験では、子ども達用のトイレではなくて職員用トイレで用を足す子どもや仮病を使い、保健室で時間を潰して、授業が始まった頃にトイレに行く子どもがいた。子どもの精神的配慮というものが昔から続いている。中には早退までしてトイレに行く子どももいた。</p> <p>鹿山委員 換気扇は設置しているのか。次に入る人を気にしていることが大きいと思う。</p> <p>教育総務課長 男子トイレについては完全個室化ということではない。</p> <p>委員長 今までどおり小便器、大便器に分かれているということか。</p> <p>教育総務課長 そのとおりである。</p> <p>鹿山委員 トイレの上の空間は繋がっているということか。</p> <p>教育総務課長 そのとおりである。換気などは十分に配慮しているが、1つ1つの個室化ではない。</p> <p>鹿山委員 次の人が入るとにおいがしてしまうということか。</p>
--	---

<p>会 議 の 進 行 状 況</p>		<p>教育総務課長 そのとおりである。</p> <p>鹿山委員 それが嫌でトイレを使用できないと思う。</p> <p>委員長 子ども達はトイレの鍵が使用中になっているだけで大騒ぎをする。</p> <p>学校教育部長 そうなるとう完全個室しかなくなるが、それは厳しいものがある。</p> <p>町田委員 大きな窓はあるのか。</p> <p>教育総務課長 換気については配慮する。</p> <p>鹿山委員 トイレのにおいには籠ったにおいと用を足した後のにおいがある。</p> <p>町田委員 消臭剤は使用していないのか。</p> <p>阿部委員 トイレを改修するよりも、子ども達に悪いことではないということをお小さい頃から教えた方が良く思う。</p> <p>学校教育部長 恥ずかしいことではないということをお教えることは必要だと思ふ。</p> <p>委員長 幼稚園では平気なのだが小学校に上がると気にし始める。</p>
--	--	---

<p style="text-align: center;">会 議 の 進 行 状 況</p>	<p>阿部委員 特に小学校高学年頃からである。</p> <p>委員長 中学生では平気なのか。</p> <p>阿部委員 言える子もいるし、言えない子もいるようである。</p> <p>委員長 子どもたちがトイレに平気で行けるようになることが理想である。 29ページ下の鉄剣マラソンついてだが、今年度は開催できなかったが、その場合の達成度はどうなるのか。</p> <p>スポーツ振興課長 大会の中止というものは悪天候か否かで判断しているが、大会に向けての準備を9割方行ってきている。そういった点で考えて地域との連携や関係団体連携などは順調に進んでいたということを見ると概ね順調と判断した。</p> <p>委員長 「お待ちしております。」とメールを送信した後に中止が決定したので混乱があった。</p> <p>スポーツ振興課長 先乗りで来られるような遠距離の方がいるので、早めの判断をせざるを得ないということで金曜日の午後2時にお集まりいただき、大会の前日、当日の準備に携わっていただく方の安全を確保することを優先することに決定し、急遽ではあるが中止とさせていただいた。当日の午後5時以降から午後11時頃まで、遠距離からの参加者約100名の方に電話で連絡を取った。さらには、ホームページの内容も更新して、お知らせさせていただいた。</p> <p>委員長 何千人の方々と天候を気にしながら、安全に事業を行っていくということは非常に大変な仕事だと思う。</p>
--	---

<p style="text-align: center;">会 議 の 進 行 状 況</p>	<p>町田委員</p> <p>有識者の御意見の中で「ゲストランナーの意味はスポーツ振興から離れてしまうのではないか。」という質問にどのように回答したのか。</p> <p>スポーツ振興課長</p> <p>客寄せとして認識されている部分があった。確かに著名な方が来ているのといないのでは参加者数に違いはあると思う。埼玉県庁の川内氏も様々な会場に呼ばれているようだが、本市の場合は、例年4,000名を超えるか超えないかのラインを推移している。コースの安全管理面から5,000人から10,000人を超えることを考えていない。ゲストランナーと同じ区間を並走できるという方々は、非常にモチベーションが上がるようである。大会前にスターターを務めていただくことも、参加する児童生徒も非常に喜んでいる。一方で並走中も会話をしながら走っていただいているので、かなり有効な手段であると思う。ゲストランナーなので有償になるのだが、行田市の大会で一定区間をゲストランナーと走ることができたということは、次回の大会につながり、有効な手段と考えている。ゲストランナーに依存しているわけではなく、他市で行っている大会でもゲストランナーは招致されているので御理解いただきたいと回答した。</p> <p>委員長</p> <p>ハイタッチなどをしてもらおうと嬉しいと思う。</p> <p>学校教育部長</p> <p>次回が記念大会のため、ではもう少し著名な方を招致するという話を聞いた中での質問である。</p> <p>スポーツ振興課長</p> <p>今回の第29回鉄剣マラソン大会は中止になってしまったが、来年度の第30回鉄剣マラソン大会は内内定ではあるが、増田明美氏をゲストとして予定している。私も直接お会いして承諾をいただいている。増田氏については行田や熊谷などで蓮楽会を有志の方と毎年1回行われているそうである。そのときに会うことができると教えていただき、合わせていただいた。夫がマネージャーなのだが、マネージャーも一緒に参加してい</p>
--	--

<p style="text-align: center;">会 議 の 進 行 状 況</p>	<p>ただくということで快諾をいただいた。</p> <p>委員長 ランナーの方々は古墳や蓮を楽しみにしている方が多いようである。インターネットで検索すると多くの感想が見ることができる。</p> <p>スポーツ振興課長 鉄剣マラソンのコースは、行田警察署から橋を渡ってすぐに左折すると忍川沿いに桜並木が続いている。さきたま緑道からさきたま古墳公園にも桜が多い。田舎ではあるがランナーの方にも走りやすいコースだと評価されている。</p> <p>委員長 地元では実感できないが、市外から来られる方からはそのような部分が好まれるようである。 31ページ上の「駅伝競走大会の開催について」だが、地元の参加率が低いとよく言われる。</p> <p>スポーツ振興課長 校長会で参加の協力を依頼したが、小・中学校の駅伝大会が市で開催される駅伝大会の前に行われていることから、学校の状況によって難しいようである。逆に学校側から大会の日程を変更したらどうかと提案された。</p> <p>委員長 他の市から参加している常連の子ども達はどこの学校の生徒なのか。</p> <p>スポーツ振興課長 寄居町立男衾中学校である。</p> <p>委員長 行田の学校の日程とは違うのか。</p> <p>スポーツ振興課長 そのとおりである。男衾中学校は県の駅伝大会にも参加しているということを聞いている。</p>
--	--

<p style="text-align: center;">会 議 の 進 行 状 況</p>	<p>委員長 男衾中学校は生徒数も多かったはずである。可能ならば、多くの中学校が参加していただければと思う。</p> <p>スポーツ振興課長 学校行事日程と大会日程の調整がどうしても前後してしまうということがある。</p> <p>委員長 可能ならば、多くの中学校が参加できるようにお願いします。</p> <p>スポーツ振興課長 了解した。</p> <p>委員長 32ページ下の「公募行田市美術展の開催」の効率性について、「低減する余地あり」とあるが、理由は何なのか。</p> <p>ひとつくり支援課長 会場設営の一部について外部発注をしていることから、コスト軽減の余地があるのではないかとということで「低減する余地あり」と評価をさせていただいた。</p> <p>委員長 パネルの設置などを運営委員会が行うということか。</p> <p>ひとつくり支援課長 全ての準備をとということではないが、一部については運営委員会が準備することでコストの軽減ができるのではないかと考えた。</p> <p>委員長 昔はパネルを自分たちで運んだが、大変な量があり、非常に大変だった。 寒い時期に開催するので、温度の問題も何とかしていただきたいという意見もあった。</p>
--	---

<p>会 議 の 進 行 状 況</p>		<p>ひとつくり支援課長 2月開催である。</p> <p>委員長 市外の受賞者が非常に多い。行田市の参加者にも頑張っていたきたい。</p> <p>35ページ下の「伝統文化活動への支援(伝統芸能育成事業)」も非常に大変である。屋台を出さない地区もあるし、屋台を引く子どももいない。そのため、屋台に乗って楽しむ子どももない。お年寄りばかりである。</p> <p>文化財保護課長 現在は大人が手伝わないと、祭りそのものが成り立たなくなりつつある。</p> <p>委員長 屋台を処分しようという意見もあるようである。屋台小屋の問題も大きい。どんどん傷んできてしまっている。屋根に穴が開き、雨漏りが起きている状況である。決算額が789,250円となっているが、修繕にはとても追いつかない。</p> <p>文化財保護課長 コミュニティ関係の補助金というものは、地域づくり支援課で担当している。太鼓の修繕や衣装の配布などを行っていただいている。こちらでもそのような補助金があるということを伝えている。この数年は地域づくり支援課の補助金で、衣装や獅子頭の修繕を6団体中5団体が行っている。</p> <p>委員長 どこの課かもう1度教えていただきたい。</p> <p>文化財保護課長 地域づくり支援課である。</p> <p>委員長 それは宝くじの収益金ではないのか。</p>
--	--	--

<p style="text-align: center;">会 議 の 進 行 状 況</p>		<p>文化財保護課長 そのとおりである。250万円を上限として、上手く使っている。</p> <p>委員長 100万単位がかかってしまう。</p> <p>文化財保護課長 獅子頭の修繕が約200万円である。</p> <p>委員長 伝統文化の後継者がいない。</p> <p>文化財保護課長 獅子舞団体については昨年、新人がデビューしたようである。この数年でいくつかの団体から新人が1人、2人デビューしたようである。</p> <p>町田委員 34ページ上の「文化施設指定管理者と連携協力」についてだが、産業文化会館で行っているチケット販売の方法についてお聞きしたい。以前、野村萬齋氏の講演のチケット販売の時に早朝から多くの方が並んだが、1人6枚までチケットが買えると聞いたのだが、本当なのか。不公平ではないかという意見があった。</p> <p>ひとつくり支援課長 いきいき財団にも確認をしたのだが、通常は1人6枚程度を販売していた。野村萬齋氏の時は予想外の反響だったと聞いている。</p> <p>町田委員 来年もまた講演の予定はあるのか。</p> <p>ひとつくり支援課長 講演を予定しているので、改善を検討している。</p>
--	--	---

<p style="text-align: center;">会 議 の 進 行 状 況</p>	<p>町田委員 抽選か何になるかは分からないが、そのほうが良いと思う。</p> <p>ひとりづくり支援課長 公平に多くの方が講演を見ることができるようには、改善をする必要があると思う。</p> <p>町田委員 よろしく願います。</p> <p>委員長 事務局だけで完結するのではなく、いきいき財団にも教育委員の意見が届くようにしていただきたい。</p> <p>ひとりづくり支援課長 私たちからきちんと伝えさせていただく。</p> <p>委員長 36ページ上の「行田市史資料編近世2」の刊行の達成度について、「やや遅れている」のは何故なのか。</p> <p>文化財保護課長 考古部会が立ち上がらなかったためである。</p> <p>委員長 41ページ上の「いじめ・不登校対策事業の推進」についてだが、24年度は23年度から不登校数が48名減少したが、理由は何か。</p> <p>学校教育課長 増減が毎年あるので、この数値が連続するということがあれば理由も判明するのだが、基本的には昨年から小学校から中学校へのバトンタッチを意識しながら連携をしたことの効果が出たのではないかという見方をしている。不登校の要因は様々なのでこれで安心しないでこれからも対策を模索していく。</p> <p>委員長 34ページ下のウイズ教室の充実も素晴らしいという評価を</p>
--	--

<p style="text-align: center;">会 議 の 進 行 状 況</p>	<p>いただいているので、これからもよろしく願います。</p> <p>町田委員 41 ページ上の「いじめ・不登校対策事業の推進」についてだが、有識者の御意見に「専門的知識のある人だけではなく、身近に相談できる人を作ることも必要と考える。」とあり、非常に共感できる。このことについては、どのように回答をしたのか。</p> <p>学校教育課長 専門的知識のある人ということだが、さわやか相談員、ボランティア相談員が名称を変えると県では身近な相談員になる。この方達は教員免許を所持する必要がない。また、スクールカウンセラーや臨床心理士といった免許を所持していないボランティア的な立場の方達である。スクールカウンセラーと呼ばれる方はきちんとした資格を所持している。さわやか相談員やボランティア相談員を子供たちにどうやって近づけるかが課題になる。子供たちからは相談をし難いということもあるので、中学校では最初は強制的に全員の相談に乗っていただき、話をして顔を覚えてもらうことにより、相談をし易くなるように工夫をしている。問題点としては、小学校には配置されていないので、保護者と相談員をどうやって近づけるかが課題である。</p> <p>町田委員 今後、小学校にもさわやか相談員やボランティア相談員を配置する予定なのか。</p> <p>学校教育課長 配置は予算的に非常に難しい。中学校もこの方達を子ども達がいる時間帯全てに配置できている状態ではない。小・中学校の連携の中で相談員を小学校に派遣して、顔を覚えてもらう位のことしかできない状態である。</p> <p>委員長 連絡会などを行い、交流はあると思う。</p> <p>学校教育課長 そのとおりである。</p>
--	--

<p>会 議 の 進 行 状 況</p>		<p>委員長 さわやか相談員は県費なのか。</p> <p>学校教育課長 ボランティア相談員も含めて、県から補助金をいただき、1つの予算の中で割り振っている。</p> <p>委員長 小学校にも、相談員の配置を考える必要が出てくるかもしれない。</p> <p>学校教育課長 県の事業は中学校の枠組みの中で行っている。勿論、財政的に余裕があるのならば、市で予算を取って、小学校に配置することも考えられる。学校に人を配置するにも様々な形があるので、一番有効なものを選んで配置することになる。</p> <p>委員長 本当なら教員が身近で相談できる人にならなければならない。</p> <p>町田委員 本来ならば、それが一番良いと思う。</p> <p>鹿山委員 以前にもお話したと思うが、不登校の原因とは子どもがストレスを抱えていることと、夜間に甘い物やジュースなどを飲食することによって、朝に低血糖を起こし、行く気持ちはあるが、行く気力が出てこないため、学校に行けない、起きることができないということが根底にあると思う。相談員の件と共に、夜に甘いお菓子や菓子パン、ジュースなどを飲食しているかどうかもチェックしていただきたい。グルコース トレランス テストを実施すると、はっきりするが、子ども達が低血糖を起こしている可能性があることも考えていただきたい。よろしく願います。</p> <p>町田委員 47ページ下の「啓発活動の推進と充実」の成果に、「人権啓</p>
--	--	---

<p>会 議 の 進 行 状 況</p>	<p>報告事項 いじめそだんホットラインの相談状況について</p>	<p>発ビデオの利用促進を図った」とあるが、このビデオは新しいものなのか。</p> <p>ひとつくり支援課長 毎年、新しいものを購入している。</p> <p>町田委員 了解した。その時代のニーズにあったものを利用して安心した。</p> <p>委員長 視聴覚ライブラリーが担当しているのか。</p> <p>ひとつくり支援課長 ひとつくり支援課の人権教育推進協議会でビデオの選定を行い、毎年新しいビデオを購入している。</p> <p>委員長 昔は視聴覚ライブラリーで購入して選定した記憶がある。 この形式は他の部も同じものなのか。教育委員会だけなのか。 会議録等に教育委員の意見が残ると思うので、来年は反映できるように点検評価報告書の改善をよろしく願います。 何か質問等はあるか。</p> <p style="text-align: center;">【原案のとおり承認】</p> <p>教育研修センター所長 いじめそだんホットラインについて報告させていただく。 クリアファイルの配付についてだが、7月19日に市内全小学校の1年生の各家庭を対象に配付した。いじめそだんホットラインの現状は、電話相談について6月定例会の時の1件、メール相談については3名の方から5回の相談と変わっていない。なお6月からの1ヵ月の間に教育研修センターで行った通常の教育相談は115件あり、その内の電話での対応は19件であった。内容についてはいじめに直接関わる相談はなかった。</p>
--	---------------------------------------	--

<p>会 議 の 進 行 状 況</p>	<p>委員長 いじめそうだんホットラインのベルが鳴るといことは殆ど ないのか。</p> <p>教育研修センター所長 以前は電話に出ても無言で切れてしまうことがあったが、最 近は電話がかかってくることがあまりない。</p> <p>委員長 せっかく作っていただいたので、こういった相談があるとい うことを忘れられないように、繰り返し周知をお願いする。 携帯電話を使った周知は今年度も行ったのか。</p> <p>学校教育課長 そのとおりである。新入生向けのクリアファイルを学校に配 布するときにも、学校宛の通知の中で携帯電話を使った周知を 行っていただきたいと依頼した。 インターネット上のサイトでいじめに関わることがあるかチ ェックをしていると報告したが、5月、6月の結果が届いた。 現段階では、危険な内容のものはなかったという報告だった。 しかし、学校毎で中学校の名前でサイトを作り、インターネッ ト上で会話を行ったりしていることは個人レベルで見られると のことだった。学校に削除をお願いしているが、中学校の卒業 生が出身校の名前を使い、個人サイトを立ち上げていることが 殆どであり、学校から指導をしてもなくなる現状である。 サイトの内容についてはいじめについては見当たらないという ことだった。</p> <p>委員長 公立学校の名前を使用したサイトの削除はできないのか。</p> <p>学校教育課長 個人サイトで〇〇中学校出身と検索するとすぐに見つかる。 結局楽しんでいる。その中でいじめに関するものがあれば対処 する。</p> <p>委員長 LINE かどうか。</p>
--	--

<p style="text-align: center;">会 議 の 進 行 状 況</p>	<p>阿部委員 LINE も問題になっている。止めたくなった時にどうやって 抜ければよいのか分からなくなり、スマートフォンからガラパ ゴス携帯に変更した子どももいる。</p> <p>委員長 児童生徒のスマートフォンの普及率は分かるのか。</p> <p>学校教育課長 スマートフォンについては調査していない。</p> <p>委員長 把握していないのか。</p> <p>学校教育課長 そのとおりである。</p> <p>委員長 小学生がスマートフォンを所持することは禁止しているの か。</p> <p>学校教育課長 所持することは止められないが、学校に持ってくることは小・ 中学校では禁止している。PTA 联合会でも学校には必要ないと いうことで禁止している。</p> <p>阿部委員 小学4年生頃から所持している子どもが多い。どこにいるか 連絡がとれるように保護者が持たせるようである。</p> <p>委員長 小学生が自転車を運転しながら携帯電話で話しているところ を見かけた。</p> <p>鹿山委員 イギリスでは小・中学生は電磁波の影響を受けるため、使用禁 止の通達が出ていたと思う。</p>
--	--

<p>会 議 の 進 行 状 況</p>		<p>学校教育課長 個人的には本来はそうあるべきだと考えている。</p> <p>委員長 ぜひ様々な情報を把握して、実態を掴んでおいていただきたい。 何か質問等はあるか。</p> <p>【全委員承認】</p> <p>委員長 以上で本日の定例会を閉会とする。</p>
--	--	--

そ の 他 特 に 重 要 と 認 め る 事 項

- 1 次回定例会開催予定日 平成25年8月19日(月) 午後2時
行田市教育委員会 2A会議室

以上、顛末を記載して、その発言内容に相違がないことを証するため、ここに署名する。

委員長

委員

委員